



矢野園芸グループ

グループ年間生産量 約1,500トン

生産環境の整ったビニールハウスで、こだわりのきゅうりを栽培。きゅうりは成長が速く、収穫期には毎日1人1,000本以上の収穫作業を行います。

自主性を持った農業者の育成

社長と共に学べ!

「土づくり、苗づくり、きゅうりづくり、人づくり」 経営者感覚を持った考える農業者に!

— 矢野社長から —

私も脱サラからの就農組。きゅうり一筋でこれまでの成功を収めてきました。

これからは矢野園芸を支える人材を育成し、それぞれが経営者感覚を持った「営農集団」を作り上げ、商品力・組織力・販売力を兼ね備えたグループ経営を目指します。将来、グループ内での独立も支援します。前向きに成功したいあなた。是非一緒に成功しましょう!



価格は「決められるもの」ではなく「自分で決めるもの」
そのために何をやるべきか考えよ!

矢野園芸の特長

ワンタッチで鮮度そのままに消費者へお届け!

独自の流通体系を使った「産地直送システム」で宮崎の新鮮朝穫れきゅうりをそのまま全国へ!

ハウス栽培のきゅうりは「鮮度が命」、新鮮であればうまいのです!

矢野園芸は独自の流通体系で、鮮度を保ったままのきゅうりをお届けしています。

きゅうりは、表面をさわったりこすったりすることで傷がつき、鮮度が落ちることから、当社では中間業者を介さず、収穫時に手が触れただけ(ワンタッチ)の状態、店頭と並ぶ流通を実現しました。だから、収穫したまま「イボ」が残った状態の新鮮なきゅうりを消費者にお届けできるのです。



イボが残っているものが新鮮なきゅうりです。
(*表面のとげを「イボ」と呼びます)

新規就農者への想い

今年の初めに新規就農された橘さんは、私の築き上げたきゅうり栽培に興味を持ち、自ら積極的に「考える農業」を実践してくれています。将来、宮崎で独立を目指す方には、グループ内での独立を支援します。その際は、農作機械の共同利用や、土地・ビニールハウスの取得支援なども積極的に行っていきます。

近い将来、この地一帯を矢野園芸グループのハウス団地とし、組織的な施設園芸のビジネスモデルを構築したいと考えています。また、新規就農者のために、シェアハウス寮の完備、お米の無償提供など福利厚生も充実させるなど、グループ拡大のための人材育成に力を入れています。

土へのこだわり

野菜作りに欠かせない土は、栄養豊富な自然の土でなくてはなりません。しかし、一般的には栽培を繰り返すたびに、豊富な栄養素は野菜に吸収され、痩せた土になっていきます。そのため、現状では栄養素の少ない痩せた土に、化学肥料や農薬などを入れて環境を整え、それを繰り返すことにより、更に土が痩せ、化学肥料や農薬無くしては野菜が育たなくなるという悪循環につながります。

そのため、矢野園芸では、

1. 自社による堆肥(有機質飼料)作り
2. 完熟堆肥(有機質飼料)使用
3. 減農薬への挑戦
4. 硝酸態窒素を減らす対策を実施しています。